ETC二輪車限定「ツーリングプラン」

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本および兵庫県道路公社は、ツーリング需要を喚起することにより、各地に広がる観光地やツーリングスポットの活性化、高速道路の利用促進を図ることを目的に、ETC搭載の二輪車限定の「ツーリングプラン」全20コースを期間限定で販売している。

本プランは最大2日間または3日間、対象エリアの高速道路が定額で乗り降り自由となる企画割引商品である（利用になる日時や区間によっては通常料金の半額程度となり、お得に利用できる）。

当日の天候などを踏まえ、走行直前でも申し込みできる（利用前のキャンセル料金はかからない）。スマートフォンなどからNEXCO各社の公式WEBサイトで申し込みできる。

《対象期間》
令和5年4月1日（土）～令和5年11月30日（木）
※北海道の各コースは、令和5年4月1日（土）～令和5年10月31日（火）

《対象車両》
ETC無線通信により高速道路を走行可能な二輪車

《コース・プラン料金・申し込み先》
各社ホームページを参照

《利用方法》
各コースの申し込み先と申し込みの際に登録したETCカードとETC車載器が付いた二輪車で、申し込みの利用期間に対象エリアを走行する。
※対象エリアの区間外を走行された場合など、申込みのプランの対象とならない利用をした場合は料金を別途請求する。

○NEXCO東日本／ドラ割
https://www.driveplaza.com/etc/drawari/
○NEXCO中日本／速旅
https://hayatabi.c-nexco.co.jp/drive/
○NEXCO西日本／みち旅
https://www.michitabi.com/roundtour/

ゴールデンウィーク期間 高速道路渋滞予測

下り線は5月3日（水）・4日（木）
上り線は5月3日（水）～5日（金）がピークに！

高速道路各社等は、ゴールデンウィーク期間の渋滞予測を発表した。

下り線は5月3日（水）・4日（木）、上り線は5月3日（水）～5日（金）に特に渋滞が多発するとしている。

出発時間を渋滞ピークが予想される時間帯の前後にずらすなど、渋滞を避けた利用を呼び掛けている。

《混雑対策》
渋滞予測や過去の交通混雑期（GW、お盆、年末年始等）の状況を踏まえて、5月3日（水）～5日（金）を中心に、特に激しい混雑を予測している期間に、休憩施設等での駐車場整理員の配置、臨時トイレの設置、大型車駐車ますの確保などの混雑対策を実施する予定。

なるNEXCO各社の公式WEBサイトで会員登録し、その後、利用日、ETCカード情報、ETC車載器管理番号などを入力のうえ、利用前までに申し込みを行う。
※すでに会員登録している場合は、新たな会員登録は不要。

申し込みの際に登録したETCカードとETC車載器が付いた二輪車で、申し込みの利用期間に対象エリアを走行する。
※対象エリアの区間外を走行された場合など、申込みのプランの対象とならない利用をした場合は料金を別途請求する。

《特に長い渋滞発生予測》

会社区分	上下線	道路名	渋滞ピーク日時	ピーク時渋滞長	渋滞発生個所
東日本	下り	東北自動車道	5月3日（水）　9時頃	40km	羽生PA付近
	上り	関越自動車道	5月5日（金）　18時頃	40km	高坂SA付近
中日本	下り	東名高速道路	5月3日（水）　7時頃	45km	秦野中井IC付近
		中央自動車道	5月3日（水）　5時頃	45km	相模湖IC付近
	上り	東名高速道路	5月5日（金）　15時頃	50km	綾瀬SIC付近
西日本・本四	下り	九州自動車道	5月3日（水）　10時頃	40km	鳥栖JCT付近
	上り	名神高速道路	5月3日（水）　9時頃	35km	大津IC付近

《詳しい渋滞情報は各社ホームページで》

○日本道路交通情報センター
http://www.jartic.or.jp/
○NEXCO東日本
https://www.driveplaza.com/
○NEXCO中日本
https://www.c-nexco.co.jp/
○NEXCO西日本
https://www.w-nexco.co.jp/
○首都高速道路
https://www.shutoko.jp/
○阪神高速道路
https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/
○JB本四高速
https://www.jb-honshi.co.jp/

高速大師橋架け替え工事
5月27日（土）～6月10日（土）

高速大師橋リニューアル特設サイト
https://www.shutoko.jp/ss/daishibashi/

首都高速道路株式会社は、構造物の長期的な安全性を確保する観点から、高速1号羽田線高速大師橋の更新（造り替え）工事を実施しており、本工事に伴い5月27日（土）から6月10日（土）までの2週間、高速1号羽田線の終日通行止めを行うとしている。

この通行止めは、既設橋から新設橋へ架け替えるために行うものであり、通行止め期間中は、首都高速道路及び通行止め区間周辺の一般道路において、通常以上の渋滞が予想されることから、車の利用を控えるか、混んでいる時間帯を避けるなど渋滞回避についての検討を呼び掛けている。

通行止めの詳細情報や渋滞予測等については、高速大師橋リニューアル特設サイトで随時知らせるとしている。

【通行止め期間】
令和5年5月27日（土）午前5時～6月10日（土）午前5時

【通行止め区間】
《本線》
▽高速神奈川1号横羽線大師出入口～高速1号羽田線／平和島出入口（上り・下り）
▽高速1号羽田線　昭和島JCT～高速湾岸線／東海JCT（上り・下り）

《閉鎖出入口》
▽上り：大師入口から平和島出口までの出入口
高速神奈川1号横羽線（上り）／大師入口
高速1号羽田線（上り）／羽田出入口、空港西入口、平和島出口
▽下り：芝浦・勝島入口及び平和島入口から大師出口までの出入口
高速1号羽田線（下り）／芝浦入口、勝島入口、平和島入口、空港西出口、羽田出入口
高速神奈川1号横羽線（下り）／大師出口

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】
◇**日本海東北自動車道**　酒田IC～酒田みなとIC（上下線）
4月19日（水）～4月27日（木）　各日20:00～翌6:00
5月18日（木）～8月1日（火）　各日20:00～翌6:00
◇**山形自動車道**　湯殿山IC～庄内あさひIC（上下線）
5月8日（月）～5月15日（月）　各日20:00～翌6:00
◇**東関東自動車道**　成田IC
5月8日（月）～5月15日（月）　各日20:00～翌5:00
◇**新名神高速道路**　高槻IC～茨木千提寺IC（上下線）
5月9日(火)、6月上旬、7月中旬、8月下旬、9月下旬、10月下旬、11月下旬、令和6年1月中旬、令和6年2月下旬、令和6年3月下旬
◇**米子自動車道**　蒜山IC～米子IC
5月8日（月）～5月13日（土）　各日20:00～翌6:00
◇**岡山自動車道**　賀陽IC～北房JCT
5月29日(月)～6月9日(金)　各日20:00～翌6:00(土日を除く)
◇**山陽自動車道**　宇部下関線　宇部JCT～下関JCT
5月23日(火)～6月6日(火)　各日20:00～翌6:00(土日を除く)
【リニューアル工事】
◇**阪神高速　3号神戸線**　京橋～摩耶
5月19日（金）4:00～6月7日（水）6:00

主張

高速道路の更新・進化に必要な財源の安定的な確保を確実なものに

本稿執筆時点において、道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法の一部を改正する法律案の国会審議が進められている。この法律案は、高速道路の更新事業などの推進に必要な財源を確保するため、令和九十七年九月末を料金徴収期限とし、債務返済の確実性の観点から五十年以内の債務返済期間を設定した上で、料金徴収期間の延長を可能とするものである。

有料道路制度は、借入金で必要な事業を実施し、料金徴収期間中の収入により債務を返済する仕組みであり、完済後は無料開放されることとされている。平成十七年の公団民営化の際に民営化から四十五年後を料金徴収期限とすることが法定されたが、平成二十四年に発生した笹子トンネル天井板崩落事故を契機に道路構造物の定期点検が義務付けられるとともに、平成二十六年には、顕在化した更新事業に着手するため、法改正により料金徴収期限が十五年延長された。その後も道路構造物の点検強化により、重大損傷の発見が相次ぎ、平成二十六年当時には想定されていなかった更新需要が明らかとなったが、それを進めるための財源が確保されていない。

高速道路の機能を将来にわたり維持するためには抜本的な性能回復を図る更新事業の推進が必要であり、また、国土強靭化等の社会的要請を踏まえ、四車線化などの高速道路の進化・改良に関する投資も不可欠である。こうした中で、これらの事業を確実に実施するための財源の確保が最も重要な課題となるが、厳しい経済状況を踏まえれば、料金を引き上げて財源を確保する方法では直ちに利用者の理解を得るのは難しい。

それを踏まえれば、今回の法案に盛り込まれた料金徴収期間の延長による財源の確保は現実的な対応であり、更にいえば、更新により高速道路の耐用年数が延長されることで受益が長期に及ぶものであるから、料金徴収期間の延長により将来の利用者にも負担を求めることは合理的である。

いずれにしても高速道路は我が国の社会・経済活動を支え、物流の効率化や地域経済の活性化などの重要な機能を持つ国民の共有財産であり、将来にわたって健全性を維持することが必要である。点検強化や技術の進展により明らかになった更新需要に、そして自動運転やカーボンニュートラルの実現、激甚化・頻発化する災害への対応などの社会的要請に的確に対応し、我々道路ユーザーが引き続き安全・快適に高速道路を利用できるよう、これらの事業の実施に必要な財源の安定的な確保が確実なものとなることを強く望むものである。

令和5年5月11日(木)～20日(土)
5月20日(土)は「交通事故死ゼロを目指す日」です
春の全国交通安全運動